

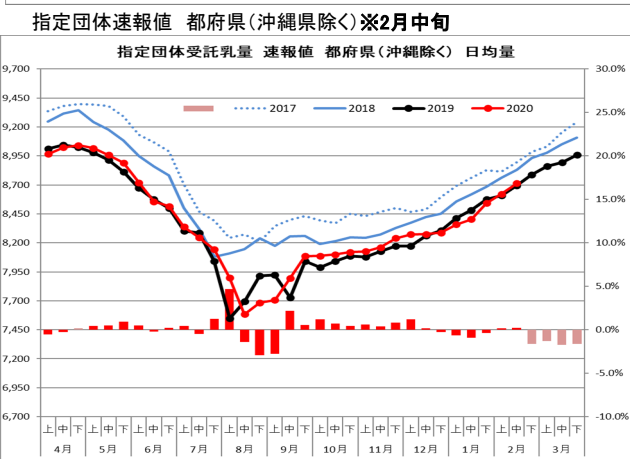
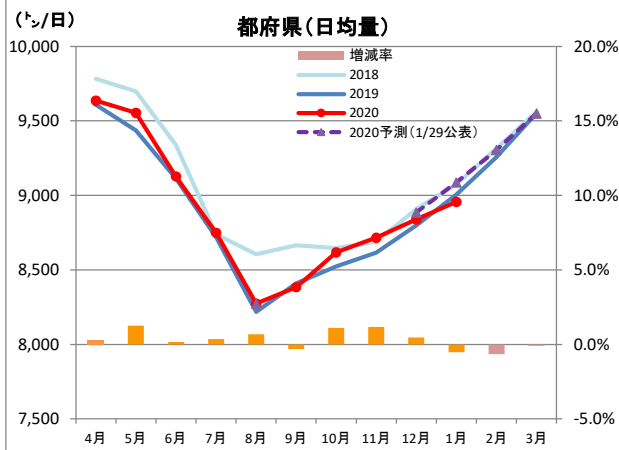
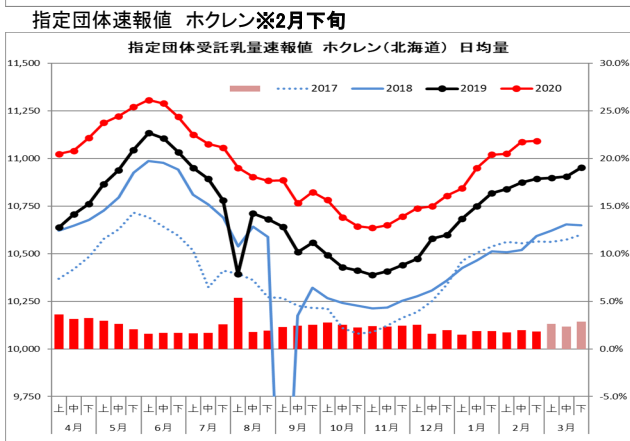
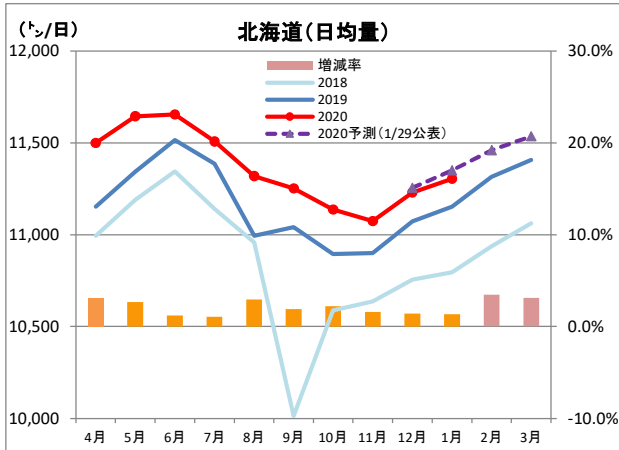
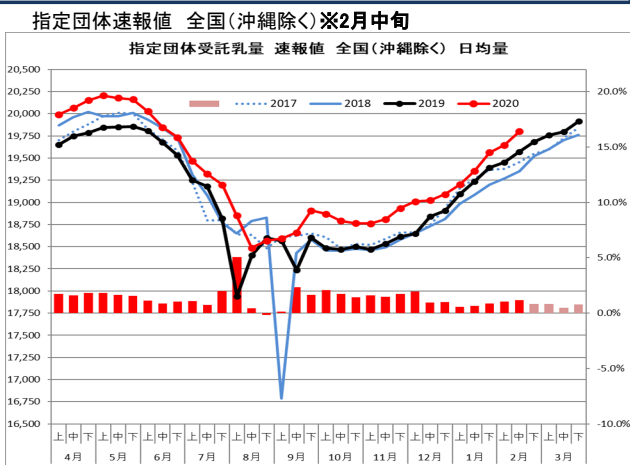
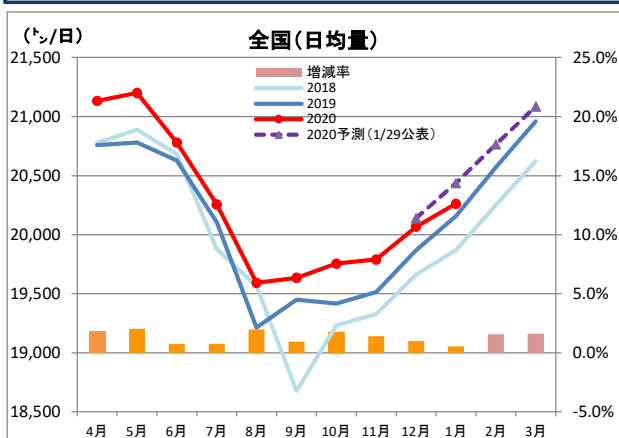
Jミルクが2021年1月29日に公表した「需給見通し(※2020年11月迄実績)」の予測値とその後の実績をグラフ化しています。毎月25日の「牛乳製食品統計(農林水産省)」の公表に併せて、今後も随時、配信していきます。発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

《牛乳消費は変わらず堅調～年度末に向けて需要拡大の取り組み強化を～》

- ・1月の需給実績について、生乳生産は全国的な気温の低下によって伸び率が大きく鈍化した一方、飲用需要については家庭内消費の高い伸び率が継続し、堅調に推移した。また、脱脂粉乳・バター出回り量のうち、脱脂粉乳は、国による飼料用等への活用対策もあり、前年を大きく上回ったが、在庫については、脱脂粉乳・バターともに高水準で推移している。
- ・直近(3/1週)の牛乳類の消費については、昨年がコロナ禍による影響で家庭内消費が大きく伸びたタイミングであったことから、前年を下回っているものの、販売個数は堅調に推移している。また、ヨーグルト(大容量タイプ)は再び前年を上回り、家庭用バターについても販売個数は堅調に推移している状況にある。
- ・なお、大消費地の首都圏(1都3県)においては、直近は新規感染者数の下げ止まりが続いており、消費動向への影響も含めて引き続き状況を注視する必要がある。
- ・依然、不透明な状況であるが、学校が春休みとなる年度末については、生産がさらに増加してゆくタイミングも重なり、生乳需給が緩和する恐れがあることから、家庭用を中心に需要拡大の取組みを強化するとともに、全国的な需給調整について業界が一丸となって対応する必要がある。

【生乳生産量】※増減率は、日均量で算出。

- (1)1月の生乳生産量は、全国628千ト(前年同月比100.5%)、北海道350千ト(同101.4%)、都府県278千ト(同99.5%)。
- (2)Jミルク予測値(全国:634千ト、北海道:352千ト、都府県282千ト)から若干下振れして推移している。
- (3)直近の指定団体速報値によると、全国が同101.2%(2月中旬)、北海道が同101.8%(2月下旬)、都府県(沖縄除く)が同100.2%(2月中旬)。



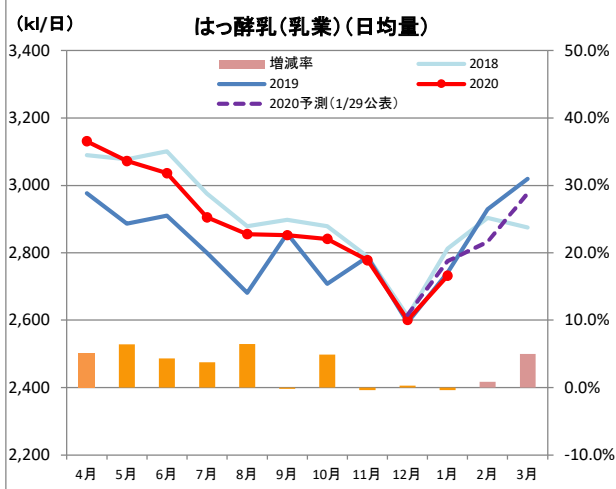
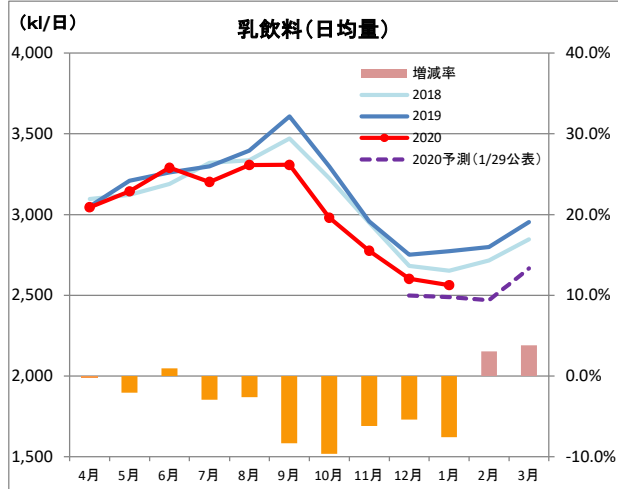
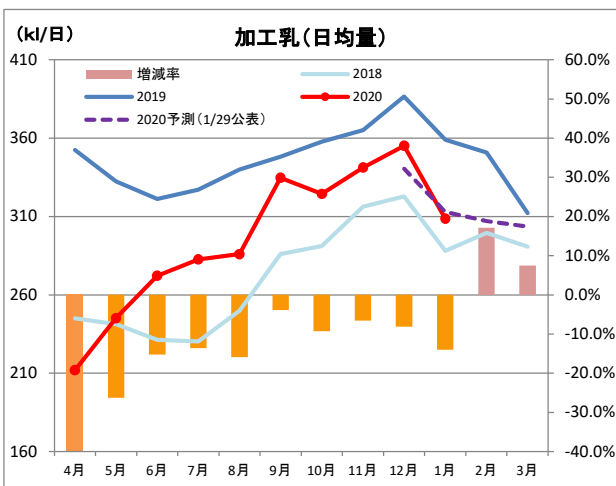
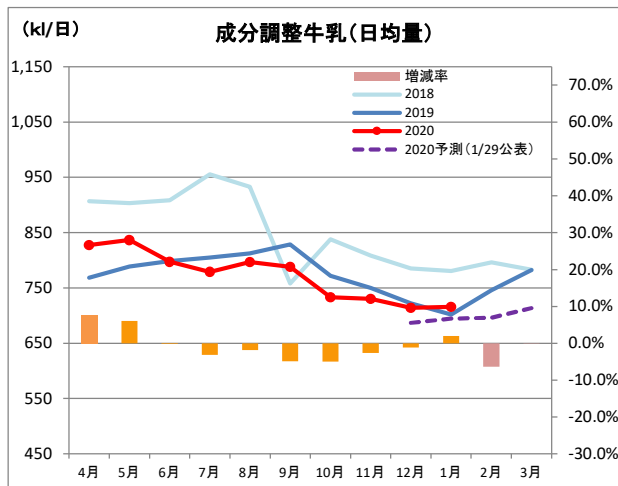
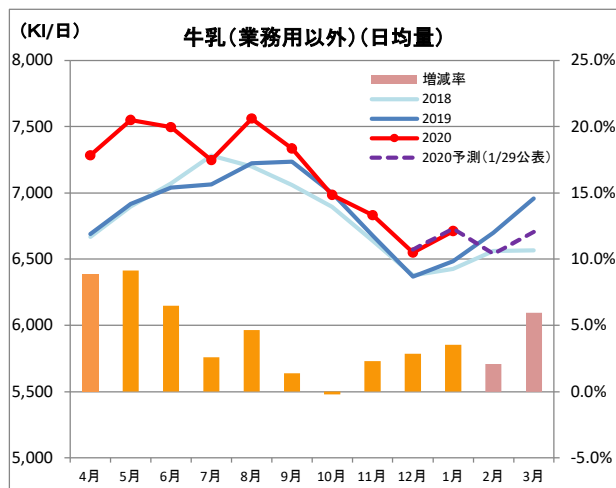
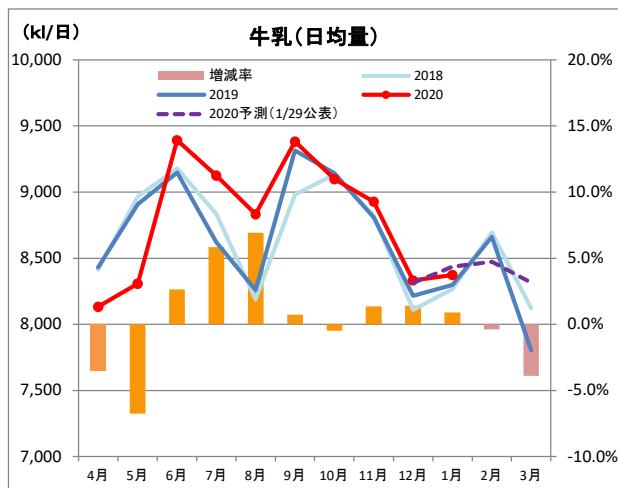
【牛乳等生産量】※増減率は、日均量で算出。

(1)1月の牛乳等生産量は、牛乳260千kl(前年同月比100.9%)、成分調整牛乳22千kl(同102.0%)、加工乳10千kl(同86.0%)、乳飲料79千kl(同92.4%)となり、牛乳類合計では371千kl(同98.6%)となった。

なお、予測値との比較では、成分調整牛乳・乳飲料は上振れで推移している。

(2)「牛乳」のうち、「業務用以外」は、同103.5%と前年を上回り、「業務用」は同86.9%と低調に推移している。

(3)はっ酵乳(乳業)は85千kl(同99.6%)と前年と同程度で推移している。予測値(86kl)からは若干下振れで推移している。

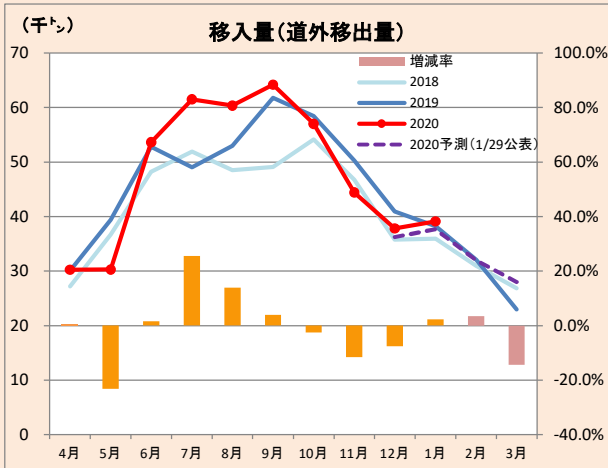
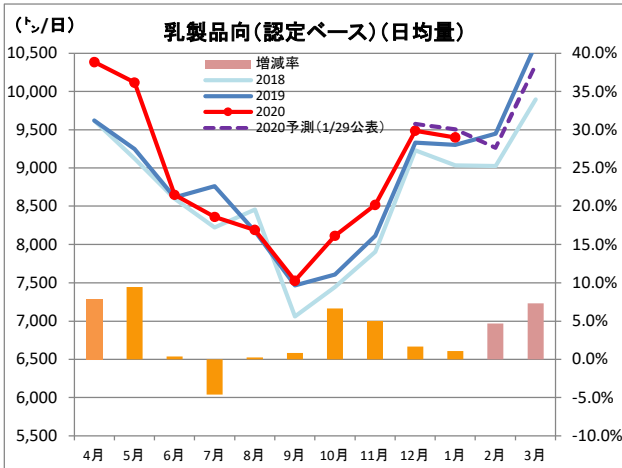
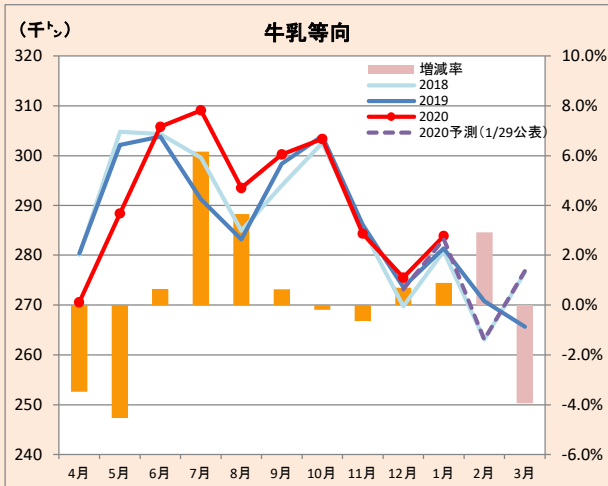
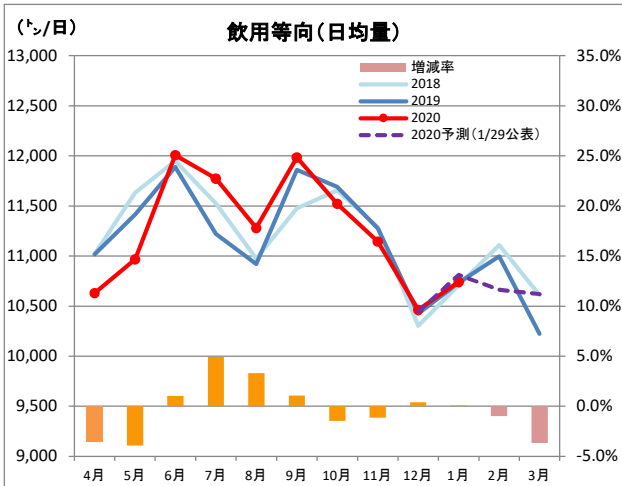
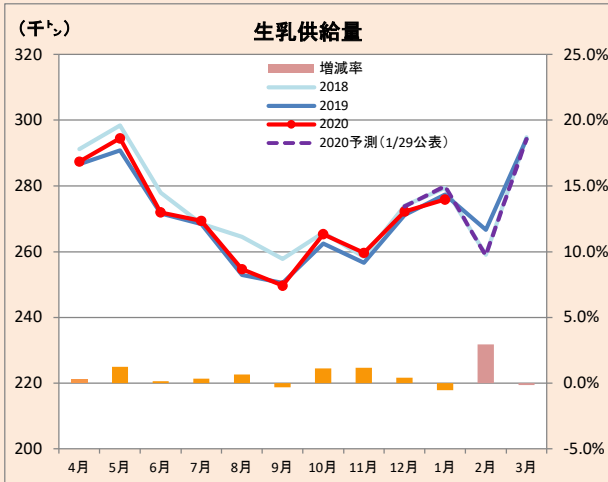
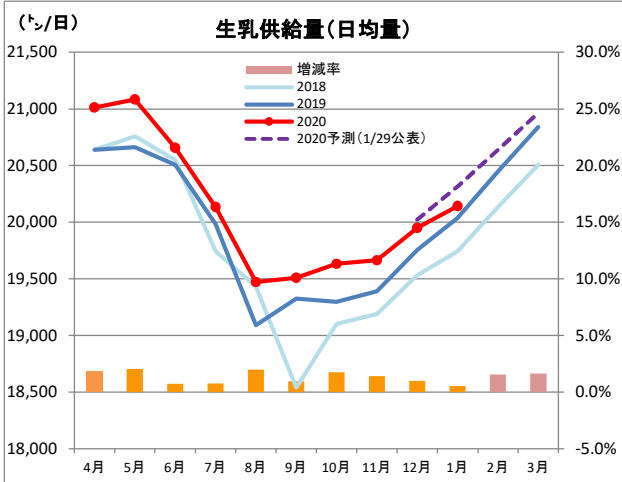


【用途別処理量】 ※増減率は、日均量で算出。

(1)1月の生乳供給量は624千トン(前年同月比100.5%)、飲用等向323千トン(同100.1%)、乳製品向(認定ベース)291千トン(同101.1%)。
 (2)予測値との比較では、生乳供給量(予測値:630千トン)、飲用等向(予測値:335千トン)、乳製品向(予測値:295千トン)とも下振れで推移している。

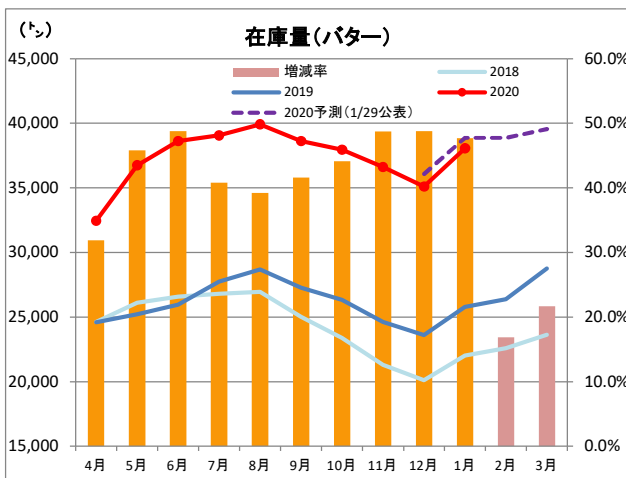
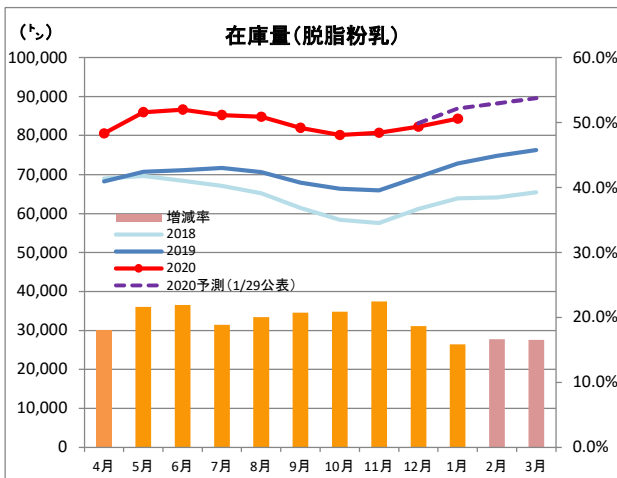
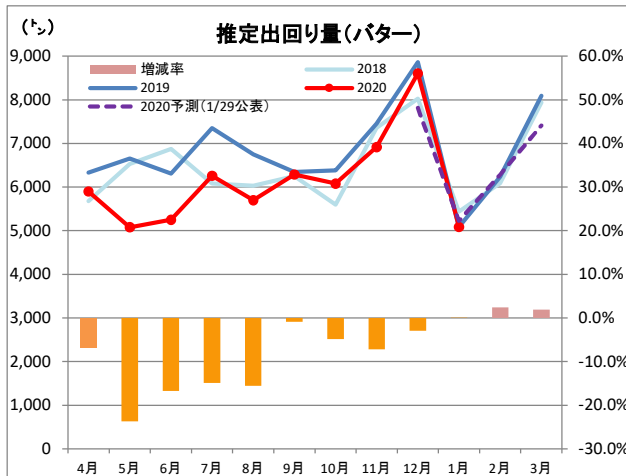
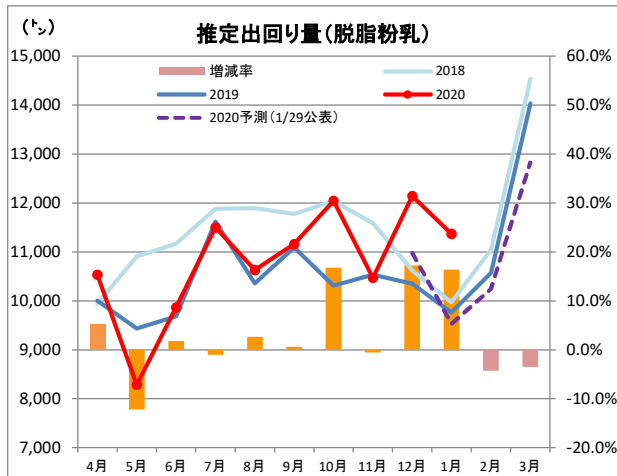
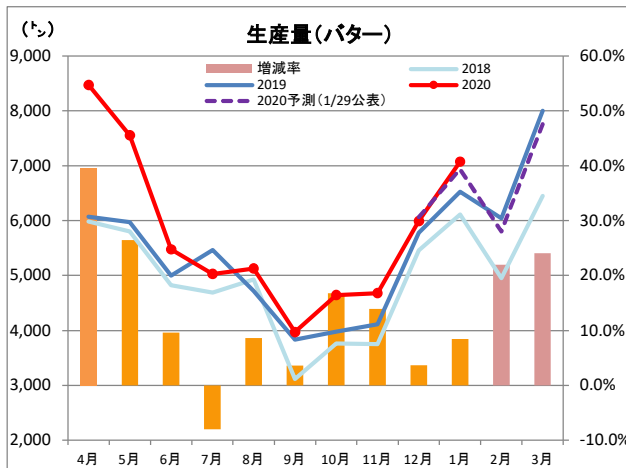
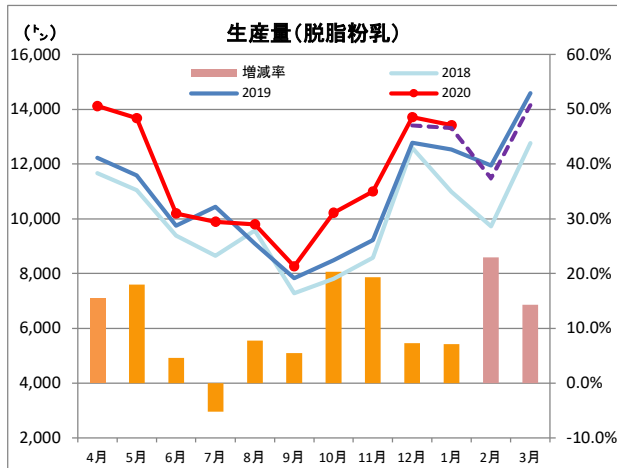
【都府県の生乳需給】

(1)1月は、生乳供給量276千トン(前年同月比99.5%)、牛乳等向284千トン(同100.9%)。
 (2)北海道からの移入量について、39千トン(同102.3%)と前年を上回った。
 (3)予測値との比較では、生乳供給量(予測値:280千トン)は下振れ、牛乳等向(予測値:283千トン)、北海道からの移入量(予測値:38千トン)は若干上振れで推移している。



【脱脂粉乳・バター之需給】

- (1) 脱脂粉乳は、1月の生産量は13.4千ト(前年同月比107.1%)、推定出回り量は11.4千ト(同116.4%)、その結果、在庫量は84.3千ト(同115.8%)。推定出回り量(≒需要量)は前年を大きく上回って推移している。
 なお、予測値との比較では、推定出回り量(予測値:9.5千ト)は上振れで推移している。
- (2) バターは、1月の生産量は7.1千ト(同108.4%)、推定出回り量は5.1千ト(同100.1%)、その結果、在庫量は38.1千ト(同147.7%)。推定出回り量(≒需要量)は前年並みで推移している。
 なお、予測値との比較では、推定出回り量(予測値:5.2千ト)と同程度で推移している。



【牛乳類の販売速報(推定値):インテージSRI+】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(1)2月の動向(表①参照)

・販売個数は、牛乳:前年同月比100.3%、成分調整牛乳:同96.0%、加工乳:同93.0%、乳飲料:同94.3%。

牛乳類では同98.8%

・販売単価は、牛乳:189.1円、成分調整牛乳:172.5円、加工乳:187.8円、乳飲料:150.3円。

(2)直近の週次動向(表②・グラフ参照)

・直近(3/1週)の販売個数は、牛乳:前年同期比99.9%、成分調整牛乳:同95.9%、加工乳:同94.9%、乳飲料:同95.0%。

牛乳類トータルでは同98.7%

参考:2018年度比は、牛乳:102.6%、成分調整牛乳:79.2%、加工乳:167.2%、乳飲料:96.6%(牛乳類トータル:100.2%)

・販売単価は、牛乳:189.0円、成分調整牛乳:172.4円、加工乳:187.5円、乳飲料:150.1円。

※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 牛乳類の月別販売動向】

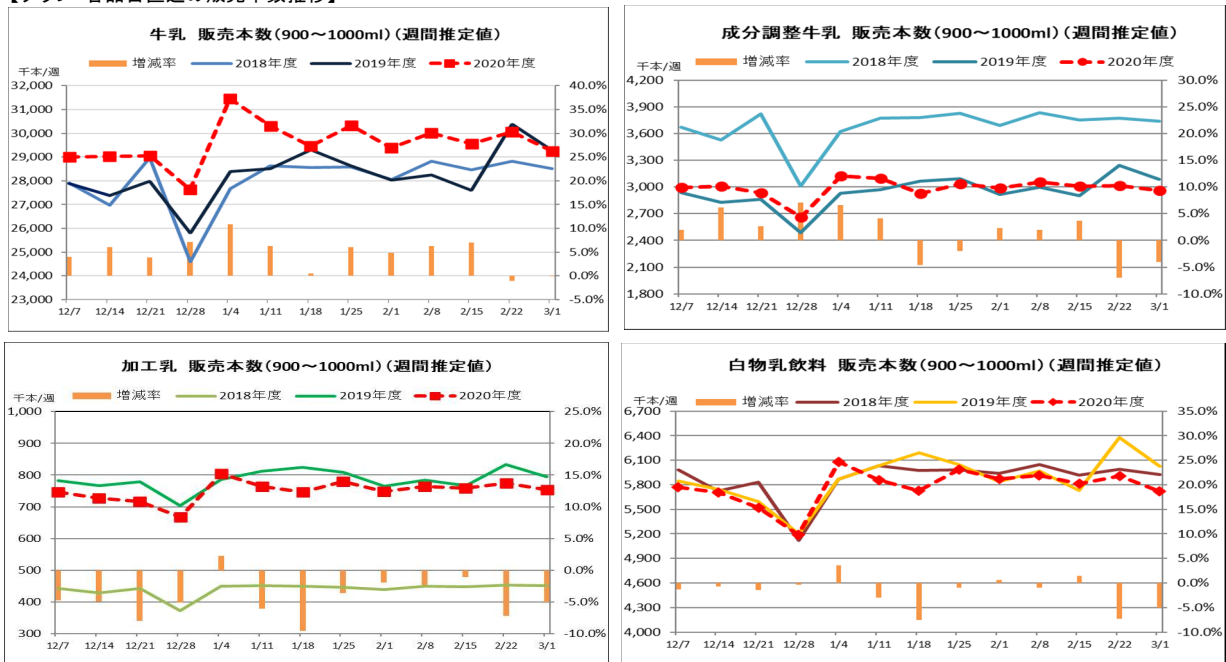
単位:千個/円

品目	区分	2020/7-	2020/8-	2020/9-	2020/10-	2020/11-	2020/12-	2021/1-	2021/2-	2021/2- 同年修正
トータル	販売個数	192,112	204,849	187,784	179,610	169,957	173,977	171,074	157,626	
	販売個数前年比	104.0	107.6	99.9	99.9	103.3	104.0	104.7	98.8	102.4
	販売単価	182.9	183.3	183.6	182.8	182.1	182.3	182.4	182.0	
牛乳	販売個数	144,177	154,671	139,944	135,286	128,122	131,686	129,682	119,005	
	販売個数前年比	106.1	109.7	101.4	101.8	105.0	105.2	106.5	100.3	103.8
	販売単価	190.5	190.9	191.6	190.1	189.3	189.3	189.4	189.1	
成分調整牛乳	販売個数	14,204	14,744	14,154	13,587	13,004	13,481	12,875	12,064	
	販売個数前年比	94.0	97.0	92.0	98.3	100.8	104.1	102.0	96.0	99.5
	販売単価	174.4	174.6	174.4	173.1	172.6	172.2	173.0	172.5	
加工乳	販売個数	3,938	4,073	3,886	3,483	3,270	3,297	3,275	3,045	
	販売個数前年比	92.9	97.5	91.0	86.8	92.1	94.5	95.8	93.0	96.4
	販売単価	181.6	184.9	185.6	188.8	188.9	189.2	188.4	187.8	
乳飲料	販売個数	29,792	31,361	29,800	27,254	25,560	25,513	25,241	23,512	
	販売個数前年比	101.7	104.7	98.0	93.8	98.1	99.1	98.8	94.3	97.7
	販売単価	150.4	150.1	150.1	150.4	150.1	150.6	150.6	150.3	

【表② 牛乳類の販売動向(直近の週次動向)】

品目	区分	1.4-	1.11-	1.18-	1.25-	2.1-	2.8-	2.15-	2.22-	3.1-
トータル	販売個数	41,466	40,017	38,849	40,134	38,984	39,749	39,128	39,765	38,685
	販売個数前年比	109.2	104.4	98.6	104.0	103.8	104.6	105.8	97.4	98.7
	販売単価	182.7	182.6	182.2	182.0	182.1	182.0	182.1	181.9	181.9
牛乳	販売個数	31,460	30,302	29,453	30,336	29,376	30,016	29,549	30,065	29,249
	販売個数前年比	110.8	106.3	100.5	106.0	104.8	106.3	107.0	99.0	99.9
	販売単価	189.7	189.5	189.1	189.1	189.3	189.1	189.1	188.9	189.0
成分調整牛乳	販売個数	3,122	3,094	2,926	3,032	2,984	3,055	3,008	3,017	2,960
	販売個数前年比	106.6	104.2	95.4	98.0	102.3	102.0	103.7	93.0	95.9
	販売単価	173.3	172.6	173.0	172.7	172.3	172.4	172.5	172.9	172.4
加工乳	販売個数	804	764	746	779	749	764	758	774	754
	販売個数前年比	102.4	93.9	90.4	96.5	98.1	97.2	98.9	92.9	94.9
	販売単価	188.5	189.8	188.1	187.4	188.7	187.4	188.1	187.2	187.5
乳飲料	販売個数	6,081	5,857	5,725	5,987	5,874	5,914	5,814	5,909	5,721
	販売個数前年比	103.6	97.1	92.4	99.0	100.6	99.1	101.5	92.7	95.0
	販売単価	150.8	150.9	150.5	150.1	150.6	150.2	150.3	150.0	150.1

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績







(1)直近の週次動向(表③参照)

直近(3/1週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比90%未満、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同100%以上。

(2)大容量タイプは再び前年を上回った。

【表③ ヨーグルト類の販売動向】

品目	1.4-	1.11-	1.18-	1.25-	2.1-	2.8-	2.15-	2.22-	3.1-
ドリンクタイプ	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
個食タイプ	↘	↘	↓	↘	↘	↘	↘	↓	↘
大容量タイプ	⇒	⇒	↘	⇒	⇒	⇒	⇒	↘	⇒

	:前年比90%未満		:前年比105%以上110%未満
	:前年比90%以上100%未満		:前年比110%以上120%未満
	:前年比100%以上105%未満		:前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

【乳用種からの出生頭数動向 速報値】

(1)2020年度1月までの乳用種からの出生頭数(乳用種雄・雌、交雑種)をみると、北海道は前年を上回っており、都府県はほぼ前年並みで推移している。

(2)乳用種雌牛については、1月末累計で全国では前年比97.8%、北海道:同98.5%、都府県:同95.9%と前年を下回って推移している。

1月単月では、北海道で3月以来に前年を上回ったものの、全国的には前年水準を下回る状況が続いており、特に都府県での減少幅が大きいことから、今後の長期的な動向を十分に注視する必要がある。

(3)交雑種について、1月末累計で全国では111.6%と前年を大きく上回っており、乳用雌減少の要因となっていると考えられる。

※家畜改良センターの速報値

月	全国								北海道								都府県							
	計	前年比	乳用種オス	前年比	乳用種メス	前年比	交雑種	前年比	計	前年比	乳用種オス	前年比	乳用種メス	前年比	交雑種	前年比	計	前年比	乳用種オス	前年比	乳用種メス	前年比	交雑種	前年比
4月	53,496	105.3%	12,191	92.4%	19,086	101.2%	19,187	119.1%	34,932	101.0%	9,561	89.4%	15,016	99.2%	9,251	117.6%	18,564	114.5%	2,630	105.3%	4,070	109.3%	9,936	120.6%
5月	47,667	93.8%	10,812	82.0%	17,516	91.1%	16,160	103.7%	33,180	94.4%	8,995	83.3%	14,307	92.4%	8,738	109.0%	14,487	92.3%	1,817	75.8%	3,209	85.6%	7,422	98.0%
6月	54,637	99.2%	12,794	89.8%	19,778	96.1%	18,841	109.4%	36,457	104.0%	10,206	94.6%	15,350	99.0%	9,804	123.9%	18,180	90.8%	2,588	74.6%	4,428	87.2%	9,037	97.1%
7月	64,212	97.7%	15,317	88.9%	22,502	94.3%	22,791	106.9%	40,333	101.0%	11,561	92.7%	16,718	96.7%	10,808	119.4%	23,879	92.5%	3,756	79.1%	5,784	88.1%	11,983	97.7%
8月	69,051	103.1%	16,193	93.9%	23,644	98.3%	25,219	113.5%	40,735	103.9%	11,681	97.1%	16,681	98.3%	11,009	121.5%	28,316	102.0%	4,512	86.6%	6,963	98.1%	14,210	108.0%
9月	63,949	103.7%	14,652	93.0%	21,758	98.8%	23,874	115.4%	37,707	105.2%	10,431	95.0%	15,236	99.7%	10,691	126.3%	26,242	101.7%	4,221	88.3%	6,522	96.8%	13,183	107.8%
10月	62,633	102.9%	13,987	94.0%	21,185	98.4%	23,840	112.0%	36,660	104.4%	9,965	95.5%	14,779	98.3%	10,625	124.4%	25,973	100.8%	4,022	90.3%	6,406	98.9%	13,215	103.7%
11月	61,602	103.2%	13,496	93.3%	20,907	99.1%	23,666	113.2%	35,568	105.0%	9,603	95.3%	14,546	99.7%	10,279	124.7%	26,034	100.9%	3,893	90.6%	6,361	97.7%	13,387	105.6%
12月	63,255	102.2%	13,764	93.1%	21,417	99.2%	24,694	111.3%	36,500	102.8%	9,802	94.0%	14,919	99.6%	10,678	118.8%	26,755	101.4%	3,962	91.1%	6,498	98.1%	14,016	106.2%
1月	62,453	103.1%	13,666	93.9%	21,596	101.4%	23,962	110.7%	36,377	104.3%	9,693	95.0%	15,250	102.5%	10,391	117.7%	26,076	101.4%	3,973	91.3%	6,346	98.9%	13,571	105.9%
計	802,955		136,872		209,389		222,234		368,449		101,498		152,802		102,274		234,506		35,374		56,587		119,960	
	4-1月比	101.5%		91.6%		97.8%		111.8%	4-1月比	102.8%		93.2%		98.5%		120.4%	4-1月比	99.8%		87.2%		95.9%		105.0%

【家畜販売価格動向】

(1)2月の家畜販売価格動向について、ホクレン家畜市場集計によると、初妊牛価格は782千円(前年同期比94.7%)、育成牛価格は467千円(同94.3%)、和牛素牛(去勢)価格は833千円(107.2%)、F1素牛(去勢)価格は453千円(同82.7%)、F1初生(雄)価格は156千円(61.6%)。
 (2)上場頭数(出回り頭数)は、初妊牛:同95.1%、育成牛:同77.8%。また、和牛素牛(去勢):同93.4%と前年を下回ったが、F1初生(雄):同114.3%、F1素牛(去勢):同144.5%と前年を大きく上回った。

※ホクレン家畜市場集計表 速報値(<https://www.kachiku.hokuren.or.jp/Downloadresult.aspx>)

